

活力と魅力あふれる東青地域づくりに向けた取組みの提言（概要）

1 検討の経緯

合計30回、延べ人員155名（実人員97名）との意見交換による取りまとめ

○活力と魅力あふれる東青地域づくり検討会議の開催

- ・地域の農業、漁業、商工、観光、建設関係の団体や企業、金融機関、大学、市町村、県の役員や職員29名で構成し、議長に青森公立大学佐々木地域研究センター長を選任
- ・第1回 5月31日 第2回 8月10日 第3回 9月26日 開催

○地域ワーキング（各地域に出向いて意見交換）及び市町村との意見交換

- ・市町村の推薦者、農業・漁業・商工・観光関係の方々との意見交換（6月～9月）
- ・市町村職員との意見交換（4月、7月）

2 提言の内容

（1）提言の構成

多くの意見や提案を広く地域に伝え、更に多くの方が共感し、自らの問題や取組みとして考えていただくことを期待し、施策提言を包括的に取りまとめるとともに、意見や提案を活性化のアイデア集として添付

（2）提言の骨子

①地域の現状と特性

地 勢

- ・全市町村が海に面し、市街地や田園に近接して山地が広がり、自然の表情豊か
- ・都市部と農漁村部を短時間で行き来でき、双方の生活場面を得ることができる
- ・県外からの玄関口であり、県内各地へのアクセス拠点

産 業

- ・卸小売業、サービス業が集積する青森市を抱え、第3次産業の割合が県内最大
- ・「青森」のブランドイメージ形成に寄与しているホタテ、リンゴの主産地
- ・地域を代表する製造業の集積が乏しい

生 活

- ・自然環境や消費生活などの暮らしやすさの面で優れた地域であるが、他地域同様、過疎化、少子高齢化が進行
- ・大学、短大の数は多いが、文化系の学部学科が多く選択範囲が狭い
- ・冬期間の降雪が不安

②施策提言

基本的な考え方

地域の人々・企業・産業が、地域で生活し、活動することの充実感や楽しさ、嬉しさを実感し、次の一步を力強く踏み出すことができる地域社会を目指す。

個別の取組み

■地域産業を支え産業クラスター形成の核となる農林水産業の振興

- ・新たなシステムづくりも含めた農漁業経営の推進（3つの施策）
- ・安定生産を支える安定流通、安定流通を支える安定生産の推進（5つの施策）
- ・東青ブランド品の開発と流通拡大の推進（6つの施策）

■新幹線開業効果を最大限に獲得するための観光施策の推進

- ・広域観光施策の推進（2つの施策）
- ・新たな旅行商品開発の推進（6つの施策）

■持続可能な地域経営を確立するための人財の確保と関係者間の連携促進（2つの施策）

③関係者からの意見・提言（活性化のアイデア集）

- ・26項目 151の意見・提言